

Title	株価に影響を与える要因の考察 - 株式掲示板と株価との関係について -
Sub Title	
Author	小野, 司(Ono, Tsukasa) 中村, 洋
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2005
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2005年度経営学 第2033号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2033">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2033</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 論文要旨

所属ゼミ	中村洋研究会	学籍番号	80430259	氏名	小野 司
<p>(論文題名)</p> <p>株価に影響を与える要因の考察－株式掲示板と株価との関係について－</p>					
<p>(内容の要旨)</p> <p>私の問題意識は、インターネットの普及によって現代は「個」からの情報発信が「個」の集合体である「大衆」に影響を与える時代なのではないかというところにある。</p> <p>この問題意識の具現化として今回株式市場を題材として研究を進めた。研究内容としては「個人投資家の投稿によって成り立っている株式掲示板は個人投資家の思惑・志向全体を映し出す一つの鏡であり、実際の株価と何か関係があるのではないか？」ということである。具体的な仮説は、指標としてポジティブな書込み件数とネガティブな書込み件数の差を掲示板感度と定義し、「株価上昇率と掲示板感度には関係がある」として、統計的な手法を用いて分析を試みた。調査対象としては新興市場を中心に200銘柄を選択し、平成17年10月の一ヶ月間、インターネット掲示板の株価上昇に対するポジティブな書込み件数とネガティブな書込み件数とを調査した。</p> <p>分析は掲示件数を類型の中心にして27パターンの分析を行った。結果として「掲示計が20件未満の銘柄」と「掲示計が71件以上の銘柄」について掲示板感度と株価上昇率との因果関係が認められた。</p> <p>このことは「自分の思惑で本意と逆の投稿をする投資家」の存在を示唆しているものと考えられる。投稿数が21件～70件の場合には「自分の思惑で本意と逆の投稿をする投資家」の影響から掲示板感度と株価上昇率には因果関係は認められない。しかし、投稿数が71件を越えて因果関係が認められるのは、「自分の思惑で本意と逆の投稿をする投資家」は一定数であるということがいえるのではないかと思う。また、投稿数が20件以下の銘柄については、大きな株価の変動がないので、このような投資家にとっての興味関心外の銘柄となってしまう、掲示板感度と株価上昇率には因果関係が認められるのではないかと思われる。</p> <p>以上から、個人投資家として「掲示板件数が20件未満の銘柄」または「掲示計が71件以上の銘柄」については掲示板の感度に従って投資をすることが有効であるという結論となった。</p> <p>確かに、当研究の限界として、サンプルの選択と調査時期・期間の妥当性、掲示板の評価の主観性などが存在するが、傾向として投稿数が少ない場合と、非常に大きい場合には掲示板の情報は株価上昇と関係があるということがいえる。</p>					